

電力不足に伴う節電等の取組み状況調査

—結果概要報告書—

平成23年6月

甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 節電の取組み実態を把握し、会員事業所の節電対策に供すると共に、今後の電力不足対策の資料とする。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成23年6月15日(水)～6月22日(水)
4. 調査対象： 当所議員・評議員・商工振興委員（231事業所）
5. 調査方法： FAX調査
6. 回収数： 103
7. 回収率： 44.6%

※ 回収状況内訳

<業種別回収数>

	合計
製造業	16
建設業	15
卸売業	17
小売業	17
情報通信業	3
金融・保険業	10
運輸業	4
サービス業・その他	21
全業種	103

10. 特記事項： 原則小数点以下、第二位で四捨五入

◆結果概要

ポイント

- **節電への取組み、99.0%が前向きだが、節電目標15%以上の事業所は63.1%にとどまる。**
- **具体的な取組み内容は、照明・空調の抑制など運用面が中心であるものの、省電力製品・設備を導入する投資面の動きもみられる。**

『Q1. 貴社では、節電の取組みを行っていますか。』という質問に対しては、95.1%の事業所が「行っている・行う予定である」と回答しており、「行っていないが、検討している」（3.9%）を加えると、ほぼ全ての調査対象先事業所が節電への取組みを行う予定である。この結果から、今夏の電力不足に対して県内事業所が極めて協力的な姿勢であることがうかがえる。

『Q2. 貴社では、具体的にどのような取組みを行っていますか。（複数回答）』という質問に対しては、「照明の抑制」が95.1%、「空調の抑制」が91.3%と突出しており、ほとんどの事業所でこまめな節電に取り組んでいる。また、「消費電力の少ない製品・設備の導入または増強」と回答する事業所も27.2%あり、運用面の取組みのみならず省エネ型製品・設備への投資を行う動きもみられる。また、「契約電力の引下げ」を行う事業所も17.5%あり、節電に関する長期的な意思決定を行っている事業所も二割弱存在する。業種によって傾向に大きな差は見られないが、とりわけ製造業においては、「操業・営業時間の短縮や休業日の増加」、「電力需要の少ない時間帯での操業・営業」、「電力需要の少ない曜日での操業・営業」、「夏季休暇制度の変更」にも回答が集まり、電力不足に機動的かつ柔軟に対応している。一方、「事業所の統合・縮小」と回答した事業所はなく、総じて今夏の電力不足を脅威としてではなく、経費削減や環境経営へ転換する機会と捉えていることがうかがえる。

『Q3. 今夏の節電目標はどのくらいですか。』という質問に対しては、52.4%が「15%」と回答しており、半数以上の事業所が国の需要抑制目標に取り組んでいることが分かる。一方で、「10%」および「5%」と回答した事業所も合わせて27.2%あり、業種業態によっては国の目標値に届かない現状が浮き彫りになった。具体的には、小売業において節電目標が15%に届いていない事業所が多い。これは、最終消費者との接点が多く、顧客の快適性を重視しなければならない事業特性によるものと考えられる。

計画停電を避けるためにも、節電へのサポート体制の一層の充実とその周知が必要である。

『Q4. 貴社では、具体的な節電行動計画を策定していますか。』という質問に対しては、「策定している」「策定する予定である」を合わせると69.9%にのぼり、特に金融・保険業では、9割の事業所が既に「策定している」と回答している。この結果から、多くの事業所が節電行動計画を策定し、効果の“見える化”を図っていることが分かる。

◆総括

東日本大震災に伴う原発事故に端を発した電力不足は、サプライチェーンの混乱や消費マインドの冷え込みに喘ぐ事業所に、節電という新たな対応をせまる結果となった。しかしながら、事業所は極めて協力的であり、事業特性に合わせた柔軟な対応をしている。

また、従来運用面が中心であった省エネへの取組みも、省エネ型製品・設備や自家発電設備を導入・増強するなど新規投資への動きがみられるようになった。つまり、今夏の電力不足は、事業所の省エネ意識の向上に大きく寄与しているだけでなく、環境経営やグリーン・イノベーションのきっかけとなる可能性を秘めていると言える。

今後の課題としては、15%の節電目標達成に向けた節電行動計画の策定推進と、省エネ改修に対する補助金の整備・拡充による省エネ型製品・設備の投資促進があげられる。

◆『Q1. 貴社では、節電の取組みを行っていますか。』

(網かけは上位1位、単位：%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	情報通信業	金融・保険業	運輸業	サービス業・その他
行っている・行う予定である	95.1	100.0	93.3	94.1	82.4	100.0	100.0	100.0	100.0
行っていないが、検討している	3.9	0.0	6.7	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
行うつもりはない	1.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

◆『Q2. 貴社では、具体的にどのような取組みを行っていますか。(複数回答)』

(網かけは上位3位、単位：%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	情報通信業	金融・保険業	運輸業	サービス業・その他
照明の抑制	95.1	93.8	93.3	94.1	100.0	100.0	100.0	100.0	90.5
空調の抑制	91.3	93.8	93.3	88.2	76.5	100.0	100.0	75.0	100.0
エレベータの抑制	16.5	12.5	0.0	0.0	17.6	66.7	40.0	25.0	23.8
在宅勤務へ切り替え	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
消費電力の少ない製品・設備の導入または増強	27.2	37.5	40.0	17.6	29.4	0.0	10.0	0.0	33.3
操業・営業時間の短縮や休業日の増加	10.7	31.3	0.0	17.6	5.9	0.0	10.0	0.0	4.8
電力需要の少ない時間帯での操業・営業	5.8	25.0	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
電力需要の少ない曜日での操業・営業	5.8	25.0	0.0	0.0	0.0	33.3	10.0	0.0	0.0
夏季休暇制度の変更	3.9	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
契約電力の引下げ	17.5	25.0	0.0	11.8	17.6	0.0	40.0	50.0	14.3
事業所の統合・縮小	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サマータイム制の導入	1.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自家発電設備(太陽光発電等)の導入または増強	7.8	6.3	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	9.5
その他	5.8	6.3	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0	25.0	4.8

- ・セミナーの中止
- ・自動ドアのストップ
- ・自販機の休止や停止
- ・デマンド監視装置の導入
- ・デマンドコントローラの設定
- ・緑のカーテンやよしずの設置(2)
- ・昼休みの時間のシフトを検討中
- ・空調関係のフィルタの定期的清掃
- ・遮光フィルムを窓に張り、空調効率を高める
- ・5～6月の土曜出勤による、7～9月分の前倒し生産
- ・スタンバイ電源の使用を極力控える

◆『Q3. 今夏の節電目標はどのくらいですか。』

(網かけは上位1位、単位：%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	情報通信業	金融・保険業	運輸業	サービス業・その他
5%	5.8	0.0	0.0	11.8	17.6	0.0	0.0	0.0	4.8
10%	21.4	18.8	33.3	23.5	35.3	0.0	0.0	25.0	14.3
15%	52.4	68.8	40.0	29.4	29.4	66.7	100.0	75.0	57.1
20%	5.8	12.5	13.3	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	4.8
20%超	4.9	0.0	0.0	0.0	11.8	33.3	0.0	0.0	9.5
特に定めていない	7.8	0.0	13.3	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
不明	1.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8

◆『Q4. 貴社では、具体的な節電行動計画を策定していますか。』

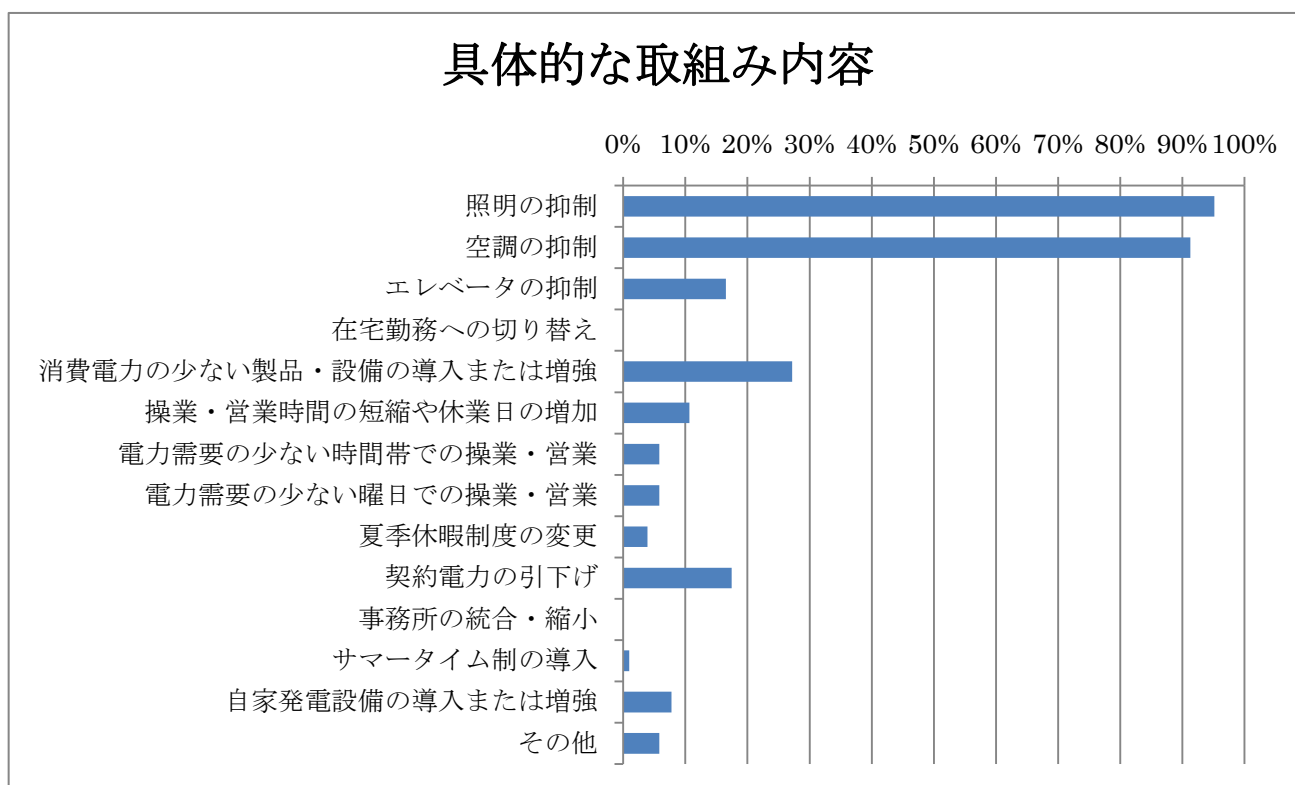
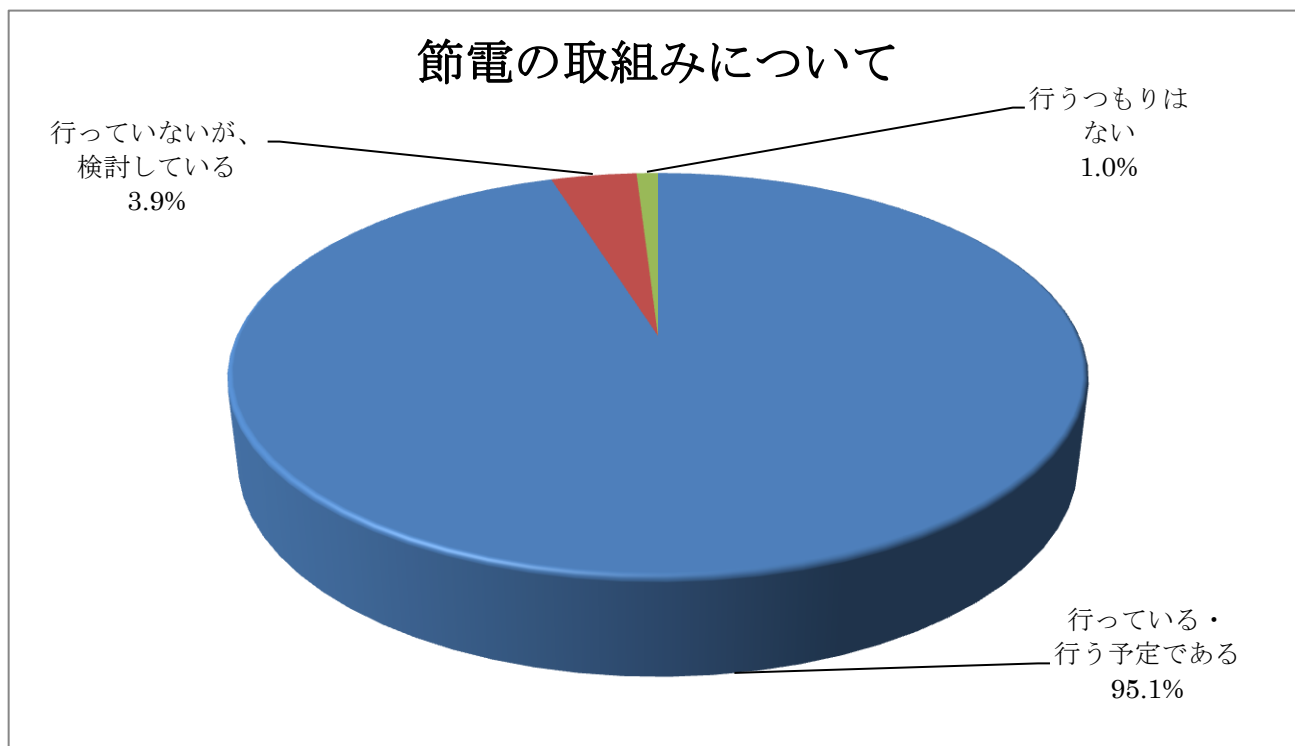
(網かけは上位1位、単位：%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	情報通信業	金融・保険業	運輸業	サービス業・その他
策定している	37.9	56.3	26.7	29.4	23.5	66.7	90.0	25.0	23.8
策定する予定である	32.0	31.3	33.3	29.4	29.4	33.3	10.0	75.0	38.1
策定する予定はない	19.4	12.5	26.7	23.5	29.4	0.0	0.0	0.0	23.8
分からない	10.7	0.0	13.3	17.6	17.6	0.0	0.0	0.0	14.3

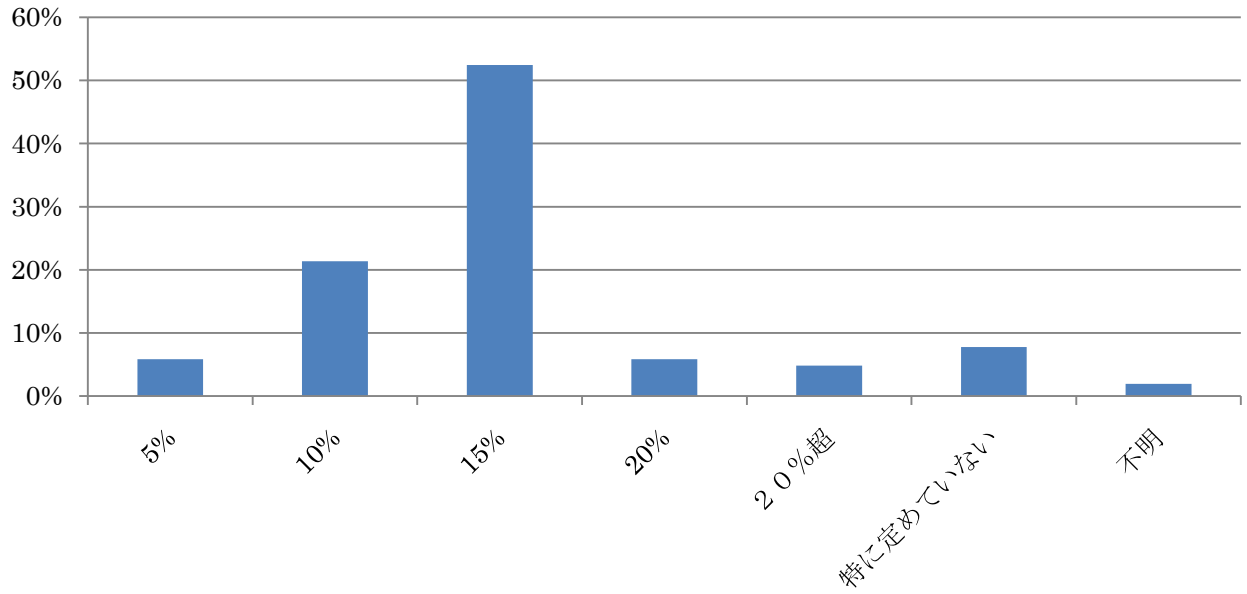
◆その他、節電等に関するご意見

- ・ 需要の少ない夜間に街路灯・防犯灯等を消灯するなど、交通安全・防犯を疎かにしてよいか疑問。
- ・ 節電に職員一丸となって努力しているので、計画停電を実施されては困る。
- ・ 昨年よりLEDに交換して、使用電力の削減に取り組んでいる。
- ・ 従業員への節電意識の啓蒙に努めている。
- ・ 本社事務所のみのため限界がある。
- ・ IH関連の仕事をしているが、一生懸命売らせて節電とはどういうことか。節電は大切だが、原発にしろ我々にしろ、これで生活していた人々の責任と保証はどうするのか。
- ・ 無駄な電気を使わないように努力する。消すことに心がける。電力会社に疑問あり。
- ・ 東電や国の事故対応のまずさ・遅さのツケを国民に回すことで、一般からすべての事業所が被害を受けている。一日も早い正常化を望む。

◆参考



今夏の節電目標



節電行動計画策定の有無

